

図のほかに、こんな“外国産鳥類”が日本の各地で発見されています。

- ・オブンチョウ
- ・キンシャンチョウ
- ・アカハラシキチョウ
- ・アカメセカセイインコ
- ・ワカセカンセイインコ
- ・コサクライインコ
- ・コカカシチョウ
- ・ウススキノドリ
- ・ジズズカラバト
- ・ホオウツバト
- ・ソウシキチョウ
- ・シロヒヨウコウカンチョウ
- ・カナリア
- ・キンカチョウ
- ・ジュウシマツ



飼い鳥が野生化した……

彼らに言葉があつたら言うでしょう。
「私たち、色彩の美しさや鳴き声で、
もともと龍の鳥として日本に輸入された
外国産鳥類です。けっして、好きで
野生化したのではないで
す。

勝手で放す無責任
の行為が生活できる環境を……

飼い主が言いたいことも
あるし、そもそも私たちの鳥が野生化
すること自体、昔から日本本邦で人間が輪
野鳥の諸君に、ずいぶん迷惑がかかるて
いると思つます。私たちどうやって
生きていけばよいか――

籠の中でもか見られなか
つたは、日本の外國産鳥類
が、日本の質のあちこち
で見かけるようになつたこそ、
ヨソ者が増え、
いるのは、トリ
の世界だけで
あります。けれども、インコや
ブンチョウ――いわばヨーザガ庭にき
たからといって、よろこんでいるも
のでよか。

日本で繁殖し、増えてる種類は、都市
化されたところや、破壊され環境にも
ようろくべき出来事であると考
える人もいます。けれども、インコや
ブンチョウ――いわばヨーザガ庭にき
たからといって、よろこんでいるも
のでよか。

ヨソ者の繁殖生生物のよさは、そ
の土地に歴史と風土のなかにちわ
れきました。私たちが自然をよく利用
していくのに必要な知恵も情報も、そ
こにひそんでいます。こう考えると
士地固有の生物の努力をすること、
その土地に課せられた効率的な業
務など思つて。彼ら――ヨソ者たち
は、世界をもじら同じようにしてしま
う間違った文明の象徴とも言えます。だ
から――彼らが野鳥していくことを、
興味本位によろこび珍らしくなりす
る前に、まず、そこには昔からいる生物
たちの動きや傾向に注意することか
大切なのはないでよか。

「ブンチョウが来た」とAさんの庭
に群れをなして来るイコ
にええをやるBさん――
興味本位の姿勢から
は、間違った見方観
しか生ま
し、その結果と
して、自然の
安易な考え方
からりかかる
ならば、

愛鳥キャンペーンについて

愛鳥キヤンペーンについて

愛鳥キヤンペーンについて